



食育通信

別海町立上春別中学校

食育担当(服部)

平成25年10月11日

第15号

☆ 毎月19日は「食育の日」です。

みなさん、こんにちは。

今号は、野菜日記の最後となる、3年生の感想文特集です。野菜づくりを通して感じたこと・思ったことが素直に書かれています。全員すてきだったので、全文載せますね!

食べることは生きることの基本

野菜日記7 (最終回)

種や苗から育てた野菜を調理して、スーパーで買う野菜より育てた野菜がおいしいなと思いました。(僕は)ネギを育てたのですが、全員が楽しく野菜を育てて調理していたので良かったと思いました。

黙々と作業をする○輔くんは頼もしかったよ。野菜のおいしさを実感できてよかったね。



今回、野菜を種や苗から自分達で育てたのですが、種をまく前などに土をたがやして、苦土石灰をまぜたのですが、それが一番大変でした。自分達で育てた物を自分達で調理して、最初から最後まで食べ物に関わってよかったです。お店で買って…のときよりも食べ物の大切さを感じました。そして、今回作った野菜のなかに苦手な物もありましたが、自分達で育てたという事でおいしく感じました。

人参担当、お疲れ様、○里さん。苦手な野菜を育てて気持ちの変化があったね。愛情が芽生えたんじゃないかな、きっと。



収穫の時、笑顔がたくさんくれた○夢くん。おいしい料理を堪能できて…喜びだね。



いつもは、お店で食べ物を買って食べていたが、今回は種を植えて、それから畑で育て、育ったものを「いも団子」「ケーキ」「ポテトサラダ」などのおいしい料理に出来て、とても楽しく作り、おいしく食べることができました。また、自分で一から作り、作ったもので料理を試してみたいなと思いました。

普段、野菜は買いに行き得るものだったが、今回野菜を作ってみて、トマトは支柱がないと倒れて手間がかかることや、土に苦土石灰をまいたり大変だということが分かった。また、その野菜を調理して食べたのは美味しいと思ったと同時に命を頂いていると思った。

作物の命に気づけた○菜さんは素敵です。トマト、とても甘かったね。



やはり自分達で愛情を込めてつくった食材は美味しかった!いつもスーパーで買ってきた食材で作ってもらった料理を食べている僕にとって、土に肥料や石灰をまぜ、種をまき、育てきたら摘芽して…。育たなかった芽に同情して、摘芽した芽をひとつこっそり植えました。それをこっそり育て、育った時には一人だけでこっそり喜びました(´ー`)手間のかかる作業が、スーパーで売っているものでも行われていると考えると大変だなあと感じました。

○勇くんの優しさが、野菜作りでも伝わってきました。喜びを感じられてよかったね。

枝豆とかトマトとか、できあがった形がいびつだったけど、売っているものはすごくきれいな形なので、すごく手間がかかっているなあと感じた。

全部、おいしく食べられてよかった。

野菜の形に注目できた○生さん。きれいな形に育てるってすごいことだと感じられましたね。枝豆、おいしかったわ。



春から密着してきた野菜づくり。種から実が育つまで、そこにかかる時間や世話の大変さを体験できた彼らは、収穫の喜びも一緒に感じる事ができました。あらゆる教科とのつながりで「食育」ができることを改めて感じました。